

# 3学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校  
3 学年通信 No.76 通算 256 号  
2018. 1. 26 (金) 克己復礼

Dreams Come True 42 2018/1/25 横山

前号「自身が感じたことを大切にしたい」と書いた帰りの夜、見事に失敗してしまいました。私は川西町在住なのだけけれど、我家は町内でも「比較的郊外」にあります。郊外というと「川西ニューリゾート」とか「見晴らしの丘 川西」というお洒落な住宅地を想像することでしょう。川西町には羽前小松駅東側に「美女木ニュータウン」という住宅地があります。私は「美女木」という3文字が醸し出す情感、「ビジョギ」という語感、ある意味「1つの至高」ではないかと思うのです。名付けた方々のグッドジョブに拍手です。美女木は十数年前に分譲を始めたことと記憶しています。その当時私は、酒田での生活を何不自由無く満喫していました。以前も書いたけれど、酒田を含む飽海地区は「この世の桃源郷」だと思うのです。少なくとも私にはそうでした。そう言えば、先週末はアンコン山形県予選が酒田市「希望ホール」で行われましたね。去年は吹研諸君の応援&激励に行ったのを思い出します。そのことを書いたような気がして探してみるとありました。2017年1月17日発行の2学年通信No.95-159です。1年ぶりに読んだら少しグッ!ときたので再掲します。

さて、ここ数年センター試験朝の風物詩となったのは「Y田先生のヘアアート」です。私は彼の後頭部を見るために早起きしていると言っても過言ではありません。今年は「克己」です。これはおそらく論語の「克己復礼」から来ている熟語とします。私の高校時代は、学則よりもコチラの四文字熟語の印象が強いのはなぜでしょう。学年の目標だったのかもしれませんが。とにかく、吉D先生の今年は克己つまり「己に克つ」だったのです。誰に克つより何より「最大の敵は自分だ」と実感する人も多いことでしょう。そのような戒めの言葉です。ちなみにY田先生の頭を剃ったのは誰なのでしょう。ナスカの地上絵を描いた生命体と筆跡が似ているそうです。なお、今はもう消えて無くなっています。来年先生はどんな激励文字を準備してくれるでしょう？



この土日は吹奏楽「アンサンブルコンテスト」県大会が酒田で行われます。以前の通信に掲載したように、米興吹研から2つのグループが出場します。今年は「できるだけ部活動を応援したい!」という思いもあり、3年生を見送り一路酒田へと向かいました。ご存じのように13日(金)から今年一番の寒気が日本列島に襲来し、この日は新庄市経由で向かったのですが、事故や立ち往生する車の屍累々でした。実は、酒田は私の「第2の故郷」なのです。この悪天候の中、酒田に行こうと決めたのは「吹研そして酒田への愛」です。教員として新規採用から結婚、子育てまでの11年、本当に酒田は大好きでした。今回行こうと決めたのは「なぜ私は酒田を愛したのか?」を巡る旅路でもありました。ここにある1枚の魚拓 ↑これは私がよく食べに行っていた食堂に「今も飾ってあるもの」を撮影してきました。1995年に私が初めて釣ったスズキです。思い出深い話なので、少しそのときのことを書かせて下さい。



当時、私は県立遊佐高等学校に勤務していました。遊佐町は鳥海山の麓に位置し、山や海はもちろん月光川や牛渡川など日本を代表する銘川もあり、私のような釣好き・自然好きには天国のような場所です。そんな1995年6月16日金曜日の職員室。いつものように「潮汐表・潮見表」を見ていて、「今日は稀に見る大潮だ!」と気づいたので。海面の高さは「1日2回」高低します。これは「月の引力と地球の自転による遠心力」の影響です。また、ほぼ27日周期でも高低します。これは「太陽と月、地球の位置関係」によるものです。この「潮の動き」と魚の活性に相関があるのです。大潮から急激に減少する時間が、ちょうどこの日の夕方だったのです(ちなみに川の魚はもちろんですが、我々人間も影響を受けていると言われます。誰か研究してみませんか?)。吹浦港のテトラポットから「スーツを着たまま」私はルアーを投げました。その3目投目、ダイワチヌーク金赤8gをドンガバチョ!と喰ったのです。数十分のやり取りの後、巨大なスズキが足元まで寄ってきました。しかしタモが無い。しかし私の初スズキ。何の迷いもなく、竿を持ったまま海に飛び込み両手でキャッチ!そのまま車のトランクに放り込みムサシで障子紙と墨汁、筆を買って取った魚拓。その後、三枚に下ろして墨臭いサシミの美味しかったこと。そんな思い出を20年以上も大切にしてくれている酒田のお店。その夜はお店の女将さんと思い出話に花が咲きました。しかも「今日は来てくれてアリガトノ」という庄内弁に見送られて。「持ち返る?」と言われ「もう少しココに置いてくれるかな」とお願いした。私はこの魚拓がある限り酒田に来ようと思う。また帰れる場所があることを嬉しくも思う。吹研のアンコンチームは満足する結果で無かったかもしれないけれど、私の思い出の地であり「土井先生の生誕の地」である酒田で演奏できたことを忘れないでほしい。そして、いつか酒田を訪れてほしいな。



スズキを釣った年である1995年の今日1月17日は「阪神・淡路大震災」があった日です。今朝は地震のあった「5時46分」に黙祷をささげる神戸市民の姿が映し出されていました。22年前の今日6434人の尊い命が失われたことは、東日本大震災そして熊本大地震とともに2年生諸君は記憶しておくべきです。そして、今日という日を迎えることのできた奇跡に感謝し、日々誠実な学びをしなければなりません。また午後の予餞会では、精一杯3年生にエールを贈りましょう。頑張れ3年生、頑張れ2年生、そして頑張れワタシ!!

以上が転載です。なぜか今日は思い出に浸りたい気分、酒田のことを書こうと思ったのだけれど昨年十分に書いていました。そして吉田先生の「克己」を見て前号を思い出して「相変わらず同じことを書いている自分」に気づいたので。恥ずかしい。そして今回どうしても書けなかったセンター試験当日のことも「残さなきゃ!」と決意したのです。あの朝、きっと来てくれるだろうと思ったMr米興ヤッサンはいつもの笑顔で「ホホ〜!」と諸君を激励してくれました。横戸校長先生、海和先生にも両日応援頂きました。原田先生には激例会でも愛溢れるエールを頂きました。そして吉田先生の今年は「大丈夫」と初の3文字チャレンジだったそうですよ! 諸君の胸中には様々な思いが今もあることだろう。しかし、この試験に向けて多くの先生方にご指導・叱咤激励頂いたこと、そしてアナタのご家族皆に協力して頂き受験できたことを忘れてはいけません。克己復礼「私情や私欲に打ち克ち、礼すなわち良心を大切にしてお互者と接すること」を私は諸君に期待し求める。そして、そんなアナタに成れたなら「大学受験大丈夫」と私は確信する。結



